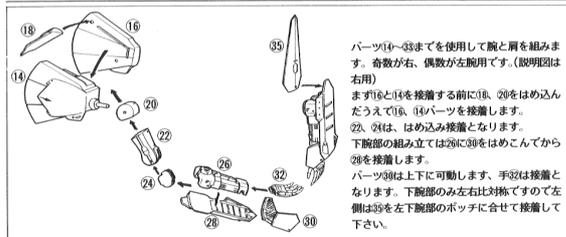


第4回 1/144 ナイトオブゴールド ADDLER2988 (WAVE)の巻

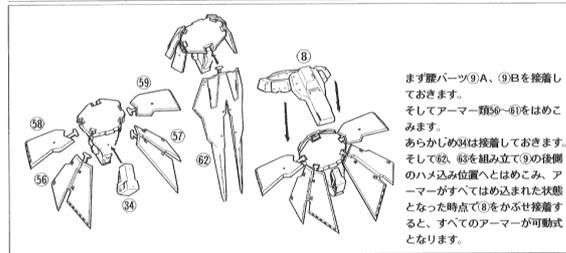


ガレージキット、とりわけレジンキャストキットの進化を語る上で、**ファイブスターシリーズ** (以下「FSS」と略記)の**影響は甚大**です。今回はFSSのシリーズ初期の傑作、**ナイトオブゴールド** (以下「KOG」と略記)を取り上げたいと思います。KOGは**全身が純金**で作られたモーターヘッド (この作品世界における戦闘用ロボットの総称) であり、**主役メカ**とも云うべき存在のメカです。その外観と並んで特徴となっているのが、**バスターランチャー**というこの作品世界で**最強の火器**を携行していることです。それ故人気が高く、当時幾つかのガレージキットメーカーから相次いで発売されましたが、その中でもひときわ理想に近い形状をしていたのがこのキットでした。このキットが発売されるほんの1~2年前までは、**レジンキットで精密なロボットを再現することは不可能**だといわれていました。柔らかいシリコンゴム型を用いることで微妙な曲面や逆テーパー (先が太くなっている形) を再現することが**レジンキットの強み**であり、プラモデルのような金型を作成して精度の高い部品を量産することは**端から考慮されていなかった**のです。勿論メーカーとしても**おいそれと金型を作ることは叶わず** (最低でも数千万円は必要) この時期ゴム型によるメカの複製の為の試行が繰り返された結果、目に見えて複製品の**精度が高くなっていった**のです。

腕部の組み立て



アーマーの組み立て



キットデータ

メーカー	WAVE
スケール	1 / 144
材質	レジンキャスト
当時価格	7600円 (税抜)

キットには当然主力武器のバスターランチャー (折り畳み 伸長両方の状態が再現可)が付属する他、実剣の刃や手首等の精細な部品はホワイトメタル製となっています。大変面白いことに、キットの随所に可動を意識したパーツ割が見られます (右参照)。スカートアーマーの可動構造など、何故後発のインジェクションキットに反映されなかったのか不思議でなりません (もっとも下半身は固定されるので有り難味は少ないのですが...)。ひょっとしたら当初は可動モデルとして開発される予定だったのかも知れません。

FSSといえば登場する度にメカの形状が変化することで有名であり、我々も多めに泣かされました。KOGもその例に漏れず、追加設定 (JOKER3100)でかなりの箇所が変更となり (後頭部にも顔が有る、等) 今日ではそれに準拠したキットしか存在しません。しかし、JOKER3100発表以前にハリボテを作っていた学生時代の我々にとっては、当然のことながらKOGの後頭部に顔など無いのです。当時の我々が理想とし追い求めたKOGの姿がこのキットには有りません。